

第4号様式（第10条関係）

## 会 議 錄 (要 旨)

会議名	平成24年度 第2回武蔵村山市公民館運営審議会
開催日時	平成24年8月22日（木） 午後2時から午後3時30分
開催場所	さくらホール（武蔵村山市民会館）会議室
出席者及び欠席者	出席者：鴻田委員、野崎委員、斎藤委員、小川（榮）委員、椎野委員、高橋委員、本村委員、小川（香）委員、山本委員 事務局：生涯学習スポーツ担当部長、生涯学習グループ課長・主事 欠席者：安田委員
議題	1. 平成24年度市民企画講座再募集について 2. 平成25年度公民館講座について
結論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について：市民企画講座の再募集について承認された 議題2について：審議経過のとおり
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p><b>報告事項1</b>  <b>平成24年度第1回武蔵村山市公民館運営審議会会議録について</b>          報告事項1について、事務局より会議資料に沿って説明。</p> <p><b>報告事項2 平成24年度公民館講座進捗状況について</b>          報告事項2について、事務局より会議資料に沿って説明。          (委員) リーダー研修会では、栄村の子ども達と交流はあるのか。          (事務局) 今回はない。          (委員) 過去数年と比べてリーダー研修会の開催場所にばらつきがあるがその理由はなにか。          (事務局) 昨年度は、震災の影響で栄村は断念せざるを得なかった。そのため、山梨県西湖周辺となった。その前の年は栄村に行き、苗場山を登山した。ある年は、名栗温泉から武蔵村山まで歩くという企画でもあった。</p> <p><b>議題1 平成24年度市民企画講座再募集について</b>          議題1について、事務局より会議資料に沿って説明。          (委員長) わかりやすいチラシを作成したほうがよいのではないか。          (事務局) 今まででは、文面のみのチラシであったが見やすいものを作成したい。また、市報の文章を基準に作成しているので市のホームページ、教育委員会のホームページにも同じようなものになっている。          (委員長) もっと市民のかたが飛びつきやすい題名のほうがよいのかもしれない。          (事務局) 来年度のテーマづくりの際に気をつけたい。          (委員) 調理系の講座は継続性がないのではないか。          (事務局) 連続講座は難しいが、一回完結型の講座を数本行ってもらう予定である。一日のみの設定であると、当日の予定が合わないと参加できないので、それを防ぐためでもある。          (委員) 伝統食のほうは考えていないのか。</p>

(事務局) 今のところ考えていない。

(委員) 今回のテーマだと応募できる人が限定されてしまう。

(委員) 来年度は離乳食をテーマにするのも良いのではないか。

(事務局) 家庭教育の分野に入ると思われるので、検討していきたい。

(委員長) 今の意見を踏まえて再募集をしていただきたい。

## 議題2 平成25年度公民館講座について

### 議題2について事務局より資料に沿って説明

(委員) 伝統工芸を学ぶ講座もおもしろいのではないか。知る人間が少なければすたれていってしまうので、認知させることも重要だと思う。

(事務局) 現在も村山大島紹の講座は村山大島紹主催で行われているという情報は入っているので講師はいるようである。

(委員) 家庭教育講座の枠が少ないと思う。

(委員) 他の市の例であるが、クラシックを学ぶ講座があった。大島紹の話があったが、市の歴史を学ぶためにもよいと思う。親子でダンスを学ぶ講座もおもしろいかと思う。子ども向けの心の勉強が興味ある。シルバー向けの健康料理教室も需要はあるのではないか。還暦のフォークギターも他市で人気があったと聞いている。

(委員) 以前、子どもが泣きやまないことに悩んでいる方がいて、アドバイスをしたら涙を流したことがあった。その時に感じたのは、親となる方々が話をする機会がないのかもしれないということである。まず、親がしっかりと親になるような支援ができるような講座を提案したい。子育てに悩んで話す場所がなく一人で悩むことが虐待につながってしまうこともある。

(委員) 防災教育もとても大事である。以前には、阪神大震災の際には経験者を呼んで話を聞いたこともあった。

(委員) 現在、自治会等での自主防災サークルの方々もいるのでその方々に活躍していただきたい。活躍すれば市内での認知度も上がり市民の防災意識も高まっていくのかもしれない。

(委員) 話は戻るが、子育てに悩んでいる親はかなりいるはずである。現状として、片親の家庭も多い。一人で悩んでしまい、いろいろなことがおそそかになってしまい傾向もある。

(委員) いろいろな講座を考えるが、いつも市民への周知が大変であると思う。今後はもっとよい方法がないか考えなければいけない。

(委員長) では、事務局は次回までに本日の意見をまとめていただきたい。

	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者 : <u>0</u> 人
	<input type="checkbox"/> 一部公開	
	<input type="checkbox"/> 非公開	
会議の公開・ 非公開の別	※一部公開又は非公開とした理由  	

会議録の開示・  
非開示の別

■開示

一部開示（根拠法令等：）  
非開示（根拠法令等：）

庶務担当課

教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課（内線：652）

（日本工業規格A列4番）